

平成27年度不祥事ゼロプログラム評価

神奈川県立中原養護学校

ア 目標	イ 行動計画	ウ 検証・評価・次年度に向けた対応
<p>①個人情報等管理・情報セキュリティ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報について理解を深め、個人情報を保護するとともに適切に扱うように心掛ける。 携帯電話における情報管理の徹底に努める。 USB等外部記憶媒体を適切な場所に保管する。 	<ul style="list-style-type: none"> 机上に個人情報がなく周囲も含めて確認し、教員間でお互いをチェックしあうようにする。 部活動引率などで個人情報を持ち出すときは適切に手続きを行う。 携帯電話にはパスワードを徹底するとともに、不必要なものは入れないようにする。 USB等を持ち出し時には、管理簿へ記入し、鍵のかかるところに保管する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の話題を意識的に数多く発信することにより、職員室全体でチェックしあえる環境作りができた。 個人情報を扱うときの手順を整備したことで、外部に持ち出すときの手続きが定着してきた。 携帯電話にはパスワードを徹底するとともに、「携帯電話個人情報登録許可申請書」に基づき、每学期確認した。 USB等を持ち出し時には、管理簿へ記入し、鍵のかかるところに保管できている。
<p>②セクハラ、わいせつ行為の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権に配慮した指導を行う。 人権に配慮した職場環境づくりを行う。 電子メールの不適切使用防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 異性の生徒と近い距離で指導する場合は、必ず近くに他の教員の目の届くところで指導する。 発達段階に応じた同性介助を徹底する。 児童生徒の携帯電話、メールアドレス、SNS（ライン等）のIDの扱いについては、適切に手続きを行う。 研修会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 異性の生徒と近い距離で指導する場合は、近くに他の教員の目の届くところで指導するなど、複数で生徒と関わるよう意識できた。 発達段階に応じた同性介助の徹底や発達段階に応じた介助への意識は高まり、対応できた。 児童生徒の携帯電話、メールアドレス、SNS（ライン等）のIDの扱いについては、手続きに従って適切に扱うことができた。
<p>③体罰・不適切な指導の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒に対する呼称、言葉遣いを相互に検証する。 児童生徒に対して無理な指導が行われていないかどうかを検証する。 児童生徒に対して、年齢や性別に応じた対応を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の呼称については生活年齢等、十分に配慮する。児童生徒の呼称や、言葉遣いに違和感を感じたら教員同士ですぐに注意、改善を行う。 生徒の人権を尊重した部活動指導を行う。 これから社会人へと向かっていく生徒たちであることを常に意識し、さん付けを徹底する。 研修会を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の呼称や言葉遣いについてや児童生徒に対して無理な指導が行われていないかどうかについては、グループ検討会・研修会を通して相互に検証することができた。 児童生徒のさん付けについては、これから社会人へと向かっていく児童生徒たちであることを常に意識し、さん付けをより徹底していく。
<p>④適正な経理処理(公費、私費管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> 私費会計管理マニュアルに沿った会計処理に努める。 授業計画に基づいて適正な執行を行うとともに定期的な点検を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ポイントカードを使わないことやレシートを無くさないこと等を徹底する。 授業での使用目的や必要性を明確にし、会計担当係のチェックを受けてから購入する。計画を立てて、執行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初の研修で、私費会計担当者には伝えたが、校内ルールが周知されるまで時間がかかった。 授業での使用目的や計画を立てて、必要性を明確にし、購入することは周知されつつある。
<p>⑤業務執行体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> チームでの業務推進のよさを活かせるような職場環境を作る。 保護者の信頼を得られるような業務執行を心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任間での共通理解を徹底させるため、話し合う機会を設け、コミュニケーションを図り、系統だった指導ができる環境を作る。 秋の祭典では保護者との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任間での共通理解を徹底させるため、話し合う機会を設け、コミュニケーションを図り、系統だった指導を行うため、連絡会を開くなど環境を作りに努めた。 秋の祭典では保護者と連携し、一緒に企画して、円滑に行事の進行がなされた。
<p>⑥交通事故、酒酔い、酒気帯び運転防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故の未然防止に努める。 社会規範の遵守に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間に余裕をもって行動する。 運転時などにも絶えず教職員に関わる法令を意識するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ検討会では、法令を意識するようにすることや時間に余裕をもって行動することを確認することなどが話題となり、意識が高まる話し合いができた。
<p>⑦公務外非行の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤務時間外においても公務員としての自覚を持って行動する。 法令遵守を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 公務外でも教員としてふさわしい行動を意識する。 それぞれが自覚を持ち行動する。また、何か気づいた時には声を掛け合う。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ検討会では自分の行動についてを考え、同僚の行動で気づいた時には声を掛け合うなどの確認する機会が持てた。
<p>⑧政治的中立性の厳守</p> <ul style="list-style-type: none"> 公務員として政治的中立を意識し、適切公正に行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内での偏った発言に注意する。お互いに注意できるようにする。 一人一人が公務員であることを自覚し行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会を通して、自分の考えを押し付けないことや校内での偏った発言に注意し、政治的中立を意識し、適切公正に行動することを確認した。